学校番号	301

令和５年度　芸術　［音楽］

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ「Joy　of Music」（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を一年間通して学習します。特にこの講座では「鑑賞」活動に重点的に取り組みます

■学習の到達度は、授業で配布するワークシート、レポート、実技テストで評価します。

■音楽の学習は、クラスメンバーとともに実際に体験してみて、意見交換して試してみてこそ価値あるものとなり、感性が豊かになります。

■音楽が生涯ずっと、皆さんの心の支えとなり、生きる力の原動力となることを願います

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、音楽文化への理解を深める。またグループ活動により、問題解決学習能力の取得も目指す。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a.　音楽への関心・意欲・態度	b.音楽表現の創意工夫	c.音楽表現の技能	d.鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする	音楽要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作、の音楽表現を工夫し、それぞれの活動に表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表現出来ている。	音楽の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈し、音楽的理解を深め、良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 作品提出	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて学習活動ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間考査まで	アンサンブル	G 線上のアリア The Pink Panther Theme	○	○	○	○	a 各種楽器を演奏する喜びを味わい、音楽活動に主体的に取り組もうとしている。 b 小アンサンブルに不可欠な技能を習得し、それを実技に生かすことが出来る c 自分なりのイメージを持って強弱、旋律の特徴を生かして歌う	観察 ワークシート 演奏の聴取
前期期末考査まで	ミュージカル	オペラ座の怪人 レ・ミゼラブル ウエストサイドストーリー サウンドオブミュージック	○	○	○	○	a 学園祭で取り組んだミュージカル作品について改めて振り返り、ミュージカルについての関心と知識を深める b 代表曲を、今まで身につけた技能や能力を生かして歌唱し、新しい個性的表現が出来る c 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な作詞作曲に必要な創作の技能を身につけ、創造的に活動出来る。 d 総合芸術としてのミュージカルと、オペラ・オペレッタとの同質性、違いを理解する。	観察 ワークシート 演奏の聴取
後期中間考査まで	鑑賞	鑑賞（独自プリント使用）	○	○		○	a ジャンルを超えて音楽文化に広い視野を持ち、未知の音楽分野についての知識関心を深める b 既習した楽典の知識や、自分自身の音楽的体験を整理し、積極的創作表現が出来る d プレゼンテーションするため、音楽作品に関する深い理解と、演奏者、作曲者についての国民性、時代背景、作曲意図など が理解できる	観察 ワークシート

学年末考査まで	課題研究	個人・グループによる音楽研究	○	○	○	○	a グループメンバー（もしくは個人）の個性や能力を認識、尊重しつつ主体的に創作活動に取り組む b 旋律、伴奏のそれぞれの役割、持ち味を生かし、積極的表現が出来る c 自分たちの作品の曲想や歌詞の意味等を感じ取り、イメージを持って演奏するために必要な歌唱の技能を身につけ、協力し合い創造的に表現できる d 優れた演奏家の演奏を聴くだけが鑑賞活動ではなく自分と同年代のメンバーの作品、演奏を自主的主体的に鑑賞することが出来る	観察 ワークシート 演奏の聴取
通年	鑑賞	年間通じて毎時、開始前から様々なジャンルの楽曲をBGM として流し、授業冒頭に鑑賞する	○			○	a 一年次より続けてきたこの活動の趣意を理解し、協力的、主体的な位置で鑑賞活動が出来たか d 音楽を形作っている要素、それぞれの音楽ジャンル、演奏形態が持つ独自性や民族性、歴史的背景等にも思いを馳せながら創造的に鑑賞できているか	観察 ワークシート